

元号に関する懇談会 議事概要

1 日 時：平成31年4月1日（月）9：32～10：08

2 場 所：総理大臣官邸特別応接室

3 出席者：

有識者

上田良一	日本放送協会会長
大久保好男	一般社団法人日本民間放送連盟会長
鎌田薫	日本私立大学団体連合会会長
榊原定征	一般社団法人日本経済団体連合会名誉会長
白石興二郎	一般社団法人日本新聞協会会長
寺田逸郎	前最高裁判所長官
林真理子	作家
宮崎緑	千葉商科大学国際教養学部長
山中伸弥	京都大学 iPS 細胞研究所所長

政府側

菅義偉	内閣官房長官
西村康稔	内閣官房副長官（衆）
野上浩太郎	内閣官房副長官（参）
杉田和博	内閣官房副長官（事務）
横畠裕介	内閣法制局長官
古谷一之	内閣官房副長官補（内政）
開出英之	内閣官房内閣審議官

4 議事概要

(1) 事務局からの新元号の原案に関する説明に対し、有識者から以下の意見があった。

① 国書からの選定について

有識者全員が国書からの案を推挙した。主な意見として以下のものがあった。

- 日本の元号なので、国書からとることは十分あっていいのではないか。元号には、その時々の変化にあわせて柔軟に新しいものを受け入れてきた歴史もあったことから、今回、国書から候補が上がっているのは良いことだと思う。
- 次の元号は、これからの新しい時代の象徴となるようなものになって欲しいと思う。国書に由来する案には非常に新しい響きがあり、これまで元号に使われていない漢字がそれぞれ一つ使われている。昭和も平成も一つずつ新しい漢字が入っていたので、国書からの案が良いと思う。国書に由来するということは、大きなメッセージを国民に与えるのではないか。
- 国書から選定することは、国際社会がグローバル化する中で、日本の文化、伝統に目を向ける一つのきっかけになると思う。単に日本の元号だから日本の古典からとることが許容できるということではなく、前向きな積極的な意味で、この時代にあった元号の選び方だと思う。
- 万葉集の時代は、グローバルな時代であったと思う。現代と通じるグローバルな時代の文化という切り口で考えれば、

典拠が国書であるということもうまく説明できるのではないか。

② 「令和」について

- 先般、皇太子殿下が会見の際に、今上陛下が築き上げられた、国民との信頼、敬愛をもとにする象徴天皇の姿を引き継いで、国民の理想とする皇室を作っていきたいという趣旨の発言をされていた。人々が美しく心を寄せ合う中で、美しい日本の文化が生まれ育つのであり、平和国家日本としてこれからも確かな道を歩むということが、天皇、国民こぞっての決意であり、希望であるという意図からすると、「令和」が新元号として響きが優しくて、新しい御代にふさわしいと考える。
- 「令和」は、本当に美しい、我が国が持っている素晴らしい洗練された文化を象徴している。万葉集のブームがきて、普通の方も読むようなことが起こるだろうと思う。「令和」を一番とさせていたきたいと思う。
- 美しく心を寄せ合って、文化を生んでいこうという象徴的な元号が定められるのは、日本とは何か、日本人とは何か、日本文化とは何かを考える大きな基盤になると思う。
- 平和、安寧、明るい未来という意味合いが込められ、読みやすく、書きやすく、なじみやすいと同時に、文字を見て込められた願いがずっと伝わるものであることが必要と思う。音の響きがよくて、普通の人に、子どもでもなじめるという意味では、「令和」が良いと感じている。
- 字、発音、書きやすさ、意味の分かりやすさということに

なると、「令和」がいいのではないかと思う。

- 音だけですぐに別の漢字2文字が浮かぶようなものは、できれば控えた方がいいのではないかという感じを持った。「令和」は、他の「れいわ」という言葉を探しても簡単に出てこないこと、漢字としてわかりやすく、かつ、極めて新鮮味があり、美しい心というか、今後の日本の長い歴史の中で温められていく元号にふさわしい元号ではないかと思う。
- 「令和」の唯一の懸念として、「のりかず」という名前の方とかがいる点が少し気になるが、広く一般的には用いられていないと思うので、「令和」が素晴らしいと考える。
- 「和」がついている元号が、昭和の一つ置きで、また「令和」というのはどうなのかということが多分問題になるんだろうと思うが、その問題を補って余りある優しい良い漢字の組合せだと思う。
- 昭和の「和」と通じるという意見があったが、逆に昭和から引いて「和」を同じくして、家族の絆、おじい様から脈々と受け継ぐ平和への希求という美德、という考え方もできると思う。

③ その他の案について

- 日本の古典から選んだものであること、和の心、平和の心をもって世界に広めていく言葉であること、音の響きが良く、親しみやすさがあり、清々しい言葉であることを理由として推挙する意見や、新しい響きがあり、これまで元号に使われていない漢字が使われていることを理由として推挙する意見があった。

- 一方で、意味を漢字から連想することが難しいのではない
か、読むのが難しいのではないか、他の読み方もあり避けた
方がいいのではないか、社名や人名に用いられることが多い
のではないかとする意見があった。

(2) 官房長官から、懇談会での御意見を参考としながら、内閣とし
て新しい元号を決定させていただく旨発言し、終了した。